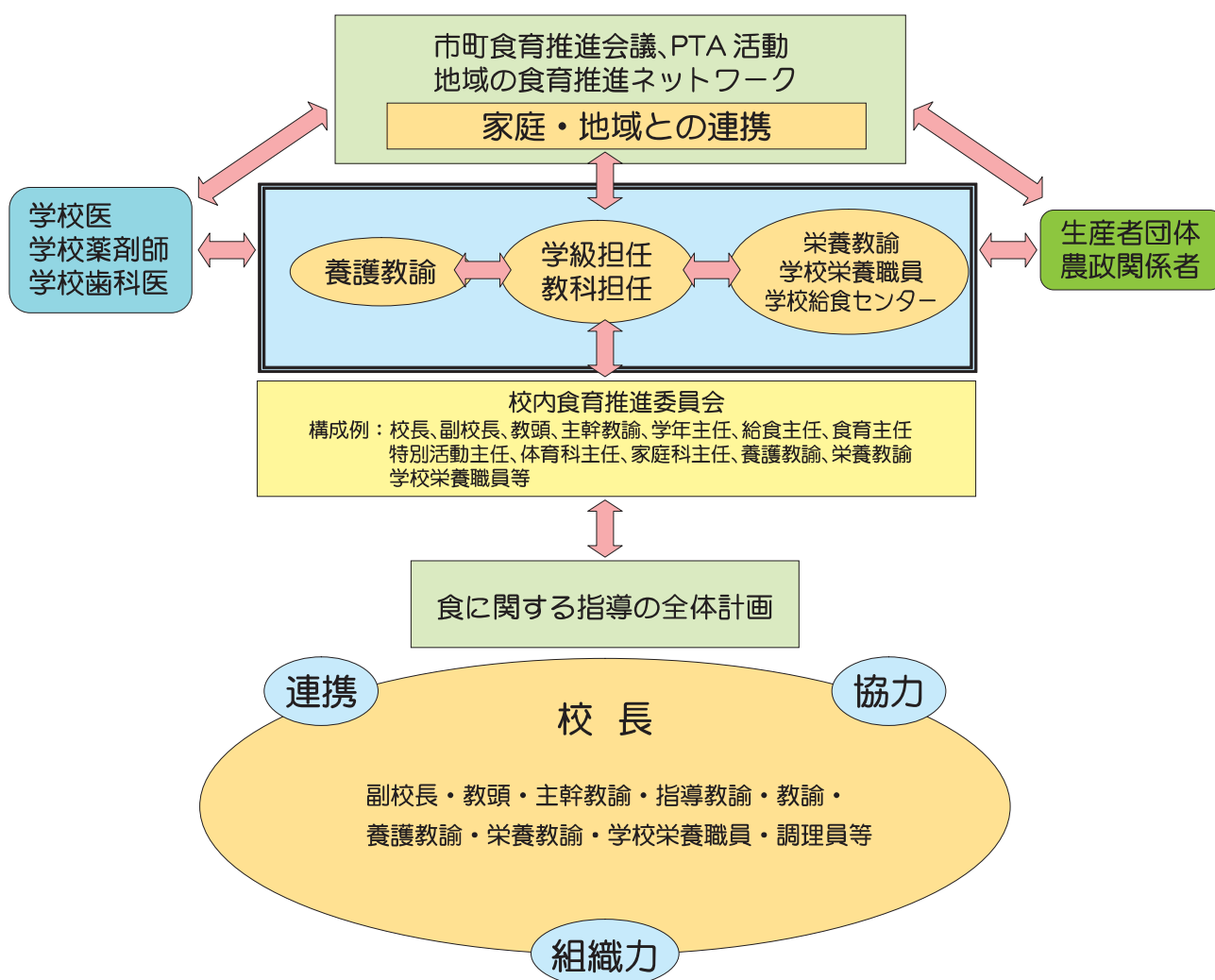


### 3 学校における食育推進のための校内指導体制

学校における食育の推進のためには、校長のリーダーシップの下に、学級担任や関係する教科の担任、養護教諭、栄養教諭・学校栄養職員などの関係職員が連携・協力しながら、組織的に取り組む体制を充実することが必要となります。

そのためには、教職員の意識啓発のための校内研修や、食に関する指導の全体計画に係る一連の取組等を行うとともに、学校内の食育を組織的に推進する役割を担う「食育推進委員会」などの校内委員会を組織し、校務分掌に明確に位置付けるなど、校内組織を充実させることが重要です。その際、校内委員会の取組を積極的に推進する役割として、食育主任等の責任者を位置付けることも有効です。

#### 【食育推進のための校内組織体制例】



## 栄養教諭とは？

～Eジャーナルしずおか第2号(平成20年6月5日)より～

### 学校での食育推進の担い手として～ 栄養教諭の配置が実現

食に関する専門性と教育に関する資質を兼ね備え、児童生徒が食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身に付けるための指導を担う、栄養教諭を配置しました。

平成17年に制定された食育基本法を受け、このほど改訂された学習指導要領の総則には、「学校における食育」が明記されました。

昭和29年に制定された学校給食法も、栄養改善や健康増進を図る目的から、食育の観点を盛り込んだ内容へと改正作業が進められています。

これらの動きを受け、静岡県では、今年度、富士宮市立学校給食センター、焼津・大井川学校給食センター及び県教委体育保健課に栄養教諭を配置しました。

### 栄養教諭の役割

栄養教諭は、学校給食管理の他、食に関する指導について、次のような役割を担っています。

- 1 学級活動及び給食時間の指導に参画したり、教科、道徳及び総合的な学習の時間等に学級担任や教科担任等と連携した指導を行ったりする。
- 2 学校内の「食に関する指導」の年間指導計画作成に参画したり、地域と連携して地産地消を推進したりする。
- 3 偏食傾向、肥満傾向、食物アレルギー等の疾病がある児童生徒等に対する個別の相談指導を行う。

### 栄養教諭の活躍に期待

学校給食センターに配置された栄養教諭は、より多くの児童生徒に対して効果的に食に関する指導を行うため、給食を配送している学校を訪問し、各校の教職員と連携しながら食育の推進を図っていきます。

給食の時間はもとより、教科等の指導場面においても、積極的にティームティーチング等を実施する他、学校、家庭、地域のコーディネーター役として、食に関する様々な情報を発信していきます。

富士宮市立学校給食センターの長谷川啓子栄養教諭は、「子ども達の健康づくりを食育から支援します」とのメッセージを、焼津・大井川学校給食センターの小笠原新一栄養教諭は、「健康は一生の宝。食育と一緒に学びましょう」とのメッセージを寄せてくれました。

栄養教諭が中核となり、学校教育活動全体で食に関する指導が充実していくことが期待されています。

(体育保健課)

(※給食センター名、課名は、平成20年3月現在となっています。)